

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (株式会社dーネクスト)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			社内規定規程を策定し、雇用、教育、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別のない社内体制を構築している。(就業規則・給与規程・研修制度等)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			社内規程を策定し、各種ハラスメントに対する認識及び該当する行為に対し届出書により総務課へ提出し、指導を促す仕組みを確立している。(各種ハラスメント規則・届出書管理担当者の任命)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			個々の事情や希望を網羅すべき雇用形態及び勤務管理を実施。勤務管理(所定内労働時間・時間外労働・有給休暇取得数等)を把握し過重労働等は正指導を実施 (36協定書作成及び教育)毎週水曜日をノー残業デーに制定。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			現在、雇用及び採用予定のない状況であるが、今後外国人雇用における教育制度等確立を図り、就業規則等を改定し勤務における平等性を確立する。(採用における準備強化)				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			外部企業の安全協議会などに参加し、実情把握及び安全に対する意識を高める。朝礼等にて全社員に周知を図り勉強会を開催する。上記情報等具体例を検証し、弊社事業内容を分析をし、業務におけるチェックリストを作成し安全意識を向上を図っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			上司(労務管理者)が日頃から部下とのコミュニケーション強化を図り、変調等を事前に把握し勤務における配慮に務めている。(就業規則等に傷病等による有休・無給休暇の設定を行なう)外部組織を活用し、メンタルヘルスチェック等実施している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			再雇用制度・育児休暇・休業制度等策定し、多様な雇用形態に対応できるように規程強化を図っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			年間研修計画を立て計画的に研修を実施する。資格手当制度を導入し対応面の強化も図っている。(給与規程確立)				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			労働条件通知書を作成し、労働基準法等各種法規に抵触しないよう務めている。職務分類表等作成し、業務内容の明確化を図っている。また、適材適所の労働環境作りを進めている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			定期健康診断を事業主が手配し受診を義務化し、健康状況を管理している。(財産管理)要再検査者への再受診の指示及び報告を促し、再検査対象者における生活習慣指導を外部機構を活用し改善を促している。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			社内の廃棄物は適正に分別し、リサイクルなどを実施する事で、廃棄物削減に取り組んでいる。マニフェストによる厳格な管理を実施している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			朝礼等にて省エネ対策の改善及び結果等を報告し、削減意識向上を図っている。今後、月別の電気使用量等を把握分析し、安全衛生委員会開催により問題点の検証を行なう。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			クールビズの推奨及び実施を行う。エアコンの設定温度確立(見える化)し、環境省推奨温度を適応している。(夏25～28℃ 冬18～22℃必要に応じ調整)							7.2 7.3					12.4	13.3				

14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】	弊社では有害化学物質の取り扱いはない。		3.9		6.3					11.6	12.4					
----	--	------------	-------	---------------------	--	-----	--	-----	--	--	--	--	------	------	--	--	--	--	--

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			県の条例に従い周囲の自然環境との調和、公園、緑地帯を設置する計画を作成することで生物多様性の確保に寄与している。						6.6									15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			自社オフィスでの分別の推進を実施している。紙資源の使用を抑えるため、社内決裁はオンラインを基本として推進している。												13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			オフィス内での水利用については、節水に努めている。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）		【予定】	現時点では取得の予定はないが、地球温暖化の進行もあり、今後環境マネジメントシステムへの対応を検討していく予定。			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）		【予定】	今後、環境に関わる認証所得ができれば、HP等で開示していく予定。														12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	再生可能エネルギーについては、工法・技術を学び積極的に取り入れ提案していく。							7.2								13			
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	将来的に検討していく。														12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			取引先やパートナーとは、当社規定などを相互理解することで、倫理面などのルールを運用している。また、コンプライアンス規程の順守や、研修会を実施し、規律順守の体制の継続に努めている。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			コンプライアンス規程、コンプライアンスマニュアル等社内規則に基づき社員が不正競争行為に組まないよう啓蒙している。																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			当社商標権については、顧問の特許事務所を通して認証登録済。また、成果物・データ等は社内施設で管理し、外部流失・無断転用のないように取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			個人情報保護規程、情報セキュリティ管理規程等により運用している。また、機密保持契約を顧客と結ぶことで、機密保持・個人情報の厳格な管理をしている。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			取引先やパートナーとは、当社規定などを相互理解することで、倫理面などのルールを運用している。						5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	今後検討していく。			3					8	9	10								17

目 番 号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			設計・計画段階で必要とされる安全性を検討している。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			提供する成果物については、想定されるリスクの洗い出しと対応策の検討をおこなうシステムを構築していく。顧客へのフォローアップを行い、品質及び信頼関係の維持向上に努めている。							9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			弊社にて製品の開発・設計は行っていないが、取引業者の新製品案内情報などはチェックし、自社利用できるか常に検討している。					6					12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			当社事業を通して、地域産業の発展に寄与する産業用地の開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会 地域 貢献・	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			経済産業省の日本立地センター及び地域自治体とも連携・協働し、地域の産業立地の造成と企業誘致を行っている。地域の活性化と雇用の創出、収収面の効果が期待できる。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			地元行政区に、法人ふるさと納税を行っている。地域の子供たちの健全育成に意識して協力している。また、当社業務は社会課題と密接に連携しているため、設計・計画段階で製品・サービスを積極的にとり入れいく。				4						11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			長野県の産業育成、地域の発展にも向け産業用地の開発に取り組んでいる。								8	9		11	12	13				
36	組織 体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			社内に掲示し、毎週月曜日に全員で唱和し、行動規範としている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			コンプライアンス規程、内部通報規程、インサイダー取引防止規程、反社会的勢力排除規程等により、毎年社内研修を実施している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			【予定】 今後、プロジェクトチームを編成し、知識向上を図り定例会議を実施していく予定。また、改善点等明確化させ、将来的には管理本部内に担当部署を設置していく予定。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			地域社会、従業員、株主、仕入先、販売先等関わる組織、人員に対してあるべき姿は常に意識している。経営会議や取締役会で、随時確認、意見交換しながら適切に運用されるよう進めている。															16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			リスク管理規程により、リスクの洗い出しと対応について共有している。ただし、リスクマネジメントのレベルについてはまだまだであり、社内でのプロセスを確立していく必要がある。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			当社の経営理念・社訓を掲示し、社員全員が責任を持った行動を行うよう取り組んでいる。また、地域のボランティア活動にも積極的に参加している。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			【予定】 事業継続計画については、外部セミナー参加、商工会議所等にて詳細（チェックリスト等）情報を収集し、内部検討する。（プロジェクトチーム編成にて） また、安否確認システムの導入を検討していく。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			【予定】 現時点では行っていないが、検討していく必要がある。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定